



### 「日本の船」

(ファン・ノールト『世界一周紀行』フランス語版、アムステルダム、1610年刊)  
ファン・ノールトは世界一周に成功した最初のオランダ人である。海賊であったファン・ノールトは、太平洋においてスペイン船を略奪するために1598年に四隻から成る艦隊でロッテルダムを出港したが、マゼラン海峡を通過した後早くも二隻を失い、フィリピンに辿り着いた。さらに、スペイン艦隊との海戦で多くの乗組員を失ったため、海賊行為を諦め、喜望峰を回り、1601年にオランダへと戻った。帰国して間もなくファン・ノールトの航海日記が『世界一周紀行』として出版され、複数の言語で版を重ねた。日文研は1610年に出版されたフランス語版を所蔵している。『世界一周紀行』には、日本船の図版が収録されている。これは、ファン・ノールトがスペイン艦隊との海戦の直前に、マニラ近くで出会った日本船のスケッチを元に作成されたものである。図版に見える小舟は日本船を拿捕するために、ファン・ノールトが派遣した哨戒船である。拿捕された日本船には価値のあるものはなかったため、ファン・ノールトは略奪せず、日本人の船長と挨拶を交わした後に別れた。

日文研所蔵外書（解説：フレデリック・クレインズ准教授）